

ごとうまたべえもとつぐこうぼだいしよ  
後藤又兵衛基次公菩提所

●所在地／宮下南組 長泉寺 ●所有者／長泉寺

後藤又兵衛基次は播磨（兵庫県）の人で、智勇に優れた武将で、「槍の又兵衛」とよばれる槍の名手であった。大坂夏の陣に豊臣方につき元和元年（1615）道明寺において最期を遂げた。

このとき首をはねたのは従者の吉村武右衛門で、彼は首を又兵衛の陣羽織に包み、『伊予古跡誌』によると、長泉寺近くの墓に埋めたとされている。廟所は塀を隔てたところにあり、「後藤さんのお祭り」といって祀っていた。

長泉寺は又兵衛の妻の伯父藤岡九兵衛が僧となっていた寺で、境内には又兵衛の供養塔が建てられ、毎年供養の法要が営まれている。

